

茅ヶ崎同盟教会 教会学校だより

2019 年度年間暗誦聖句

(CS どもさんびか・ライブラリー3 番)

主は私の羊飼い。私はとぼしいことはありません。主は私をみどりの牧場にふさせ いこいの水のほとりにともなわれます。主は私のたましいを生き返らせ 御名のゆえに 私を義の道にみちびかれます。

たとえ 死の陰の谷を歩むとしても、私はわざわざいを恐れません。

あなたが ともにおられますから。

あなたのむちとあなたの杖、それが私のなくさめです。

私の敵をよそに あなたは私の前に食卓をととのえ 頭に香油をそそいでくださいます。

私のさかすきは あふれています。まことに 私のいのちの日の限り、いつくしみと恵みが 私を追ってくるでしょう。

私はいつまでも 主の家に住まいます。

詩篇 23 篇(新改訳 2017)



教会学校では、毎年5月の第3・4週頃に、教会から歩いてすぐの、えぼし岩の見える茅ヶ崎海岸に集まり、砂浜で思いっきり遊ぶビーチ・プレイ・デイを開催しています。当日のお天気は快晴で楽しいひとときとなりました。やはり浜辺では、バーベキューを楽しんだり、遊んだりする人々にぎわっておりました。小学科担当の安田姉がレポートします。

2019年ビーチプレイデイ・レポート

安田雄子 記



5月19日午後1時、五月晴れのさわやかな天候に感謝し、楽しい集いになるようにと、当教会の山村牧師に祈って頂き、どもさんびか『海と空つくられた主は』を讃美して、教会学校・幼小低学年科の加藤姉より、安全で楽しく過ごすためのお約束や注意のお話しあり、その後みんなで海岸に向かって出発しました。

参加したのは 12 名の子ども、成人科1名、父母5名、CS 教師9名、山村牧師、そして奉仕神学生の山谷兄でした。



そして、全員無事に海岸に到着です。

砂浜は、日曜日ともあって、バーベキューをしている人たちが多く、テントも張られていて、とても賑やかでした。

いつもの場所にシートを敷き、荷物を置く。・・・毎年、何故か不思議なことに、同じスペースが“今年もどうぞとばかり”空いているのです。

“紅白玉入れ”は、幼児チームと小学生以上チームの対抗です。これは幼児チームががんばりました。その間、男性方の力で大きな砂の山が富士山のようにでき上がり、その山の中にはカラーボールがたくさん埋められています。

ここで山のまわりで集合写真をパチリ!!

“綱引き”も、子ども同士と大人同士（男性対女性）で楽しみました。大人対決は2回戦とも女性が圧勝で、負けたショックと力尽きた森本CS校長は、しばしその場に動けなくなり、それを横目に女性たちは余裕の談笑で盛り上がる。そして水分補給となりました。子どもたちも1ゲームごとに水分補給をしました。





お楽しみの“たから探し”は『よーい,スタート!!』でみんなが大きな山に飛びつき,砂を掘る,掘る,掘る…。見つけたカラーボールと交換に,たくさんあるおもちゃから一つ選んで再び山への繰り返しです。そして高かった山は平らになりました。

“ビーチフラッグ”では,大人チームで,山谷神学生の以外な一面を発見。フットワークの良さ,ダイナミックなすべり込みに,みんなが目を見張りました。聞くところ,中学か高校で陸上部だったとのこと。納得です。

みんなが輪になって遊ぶ“ネコとネズミ”もとても楽しかったです。子どもたちを飽きさせることなく,次々とプログラムが組まれ,みんなが楽しめるように進行してくれたのは加藤姉でした。あっという間に,楽しい時間が過ぎ,心地良い海からの風の中,閉会のお祈りをし,神さまに感謝をして解散となりました。

このために,様々な準備があり,買い物に車を出してくださったり,安全に気を配り引率してくださったCS教師の兄姉。この日を覚えてお祈り下さった多くの方々,山を造る作業をしてくれた諸兄。美しく大きな海と空をつくられた神さまに心から感謝をいたします。おしまい。

●編集後記



今回のレポートは,小学科担当の安田姉に書いていただきました。日曜日の午後の海岸は散歩やスポーツやバーベキュー大会などの人でいっぱいでした。お天気もよくて江ノ島がきれいに見えました。毎度ながら砂山作りの土木作業は疲れまです。今年も小さなお友だちの参加で盛り上がりました。日曜日には,教会学校に続けて来てくださいね。今年も夏休みには教会で1日夏期学校が計画されています。聖書と賛美,そして自分たちで工作,ランチやかき氷のおやつなど,楽しいプログラムがみなさんをまっていますよ。(森本)

(May 30th. 2019 Updated)